

平成18年度当初予算に係る主な施策

平成18年6月定例議会が6月16日召集され、会期を8日間と定めて開会しました。

議長より諸般の報告、続いて町長より行政報告、所信表明が行われ、町民と行政による協働の町づくりを進める。「新町基本計画構想」策定は行政懇談会を実施して策定したい。

又安全・安心な住み良い町作りと融和促進の為、主要道路網の整備に積極的に取り組むとの表明がありました。

続いて条例5件、一般会計、特別会計予算案12件の議案上程並びに提案理由の説明さらに請願等の常任委員会付託の手續がとられました。

19日から20日にかけて一般質問が行われ、12名の議員により一般質問がありました。

21日から22日は議案審査が行われ、23日本会議が開催されました。

平成18年度一般会計当初予算額53億8千8百93万1千円、特別会計予算額合計で、64億2千3百76万2千円、総額で118億1千2百69万3千円が可決承認されました。

一般会計当初予算に関する主な施策は以下のとおりであります。

(一般会計に関する歳入、歳出については6、7頁を参照下さい。)

平成18年度当初予算に係る主な施策		(単位：千円)
(1) 総務費関係		
①有明広域事務組合負担金（総務費・企画費）	14,100	
②交通安全施設設置工事（ガードレール、カーブミラー）	3,300	
③土地・家屋評価業務委託料	11,304	
(2) 民生費関係		
①町社会福祉協議会補助金	29,557	
②重度心身障害者医療費助成事業	27,300	
③身体障害者施設支援費	43,700	
④国民健康保険事業会計繰出金	102,863	
⑤老人保護措置費（養護老人ホーム）	41,400	
⑥介護保険事業会計繰出金	222,735	
⑦老人保健事業会計繰出金	154,418	
⑧生きがいデイサービス・外出支援サービス事業委託料	13,188	
⑨保育所運営費負担金（私立・公立）	183,143	
⑩地域子育て支援センター事業補助金	13,012	
⑪乳幼児医療費助成事業	21,600	
⑫児童手当	68,940	
(3) 衛生費関係		
①合併処理浄化槽設置整備事業（補助、単独）	93,910	
②検診委託料（セット検診・選択検診・病院検診）	76,522	
③ごみ収集運搬事務委託料	22,113	
④有明広域事務組合（衛生・清掃）負担金	164,867	
(4) 農林水産業費関係		
①中山間地域直接支払交付金	48,365	
②県営圃場整備事業費（十町地区）	19,254	
③団体営圃場整備事業費（日平地区）	81,254	
④間伐作業道開設工事、林業用道路施設等補助金	11,600	
(5) 商工費関係		
①商工会補助金	9,500	
②古墳祭・戦国肥後国衆まつり補助金	14,000	
(6) 土木費関係		
①県道改良舗装負担金	25,000	
②土木費補助金	41,141	
③簡易水道事業会計繰出金	18,229	
④特定地域生活排水処理事業会計繰出金	7,900	
⑤道路維持費	39,141	
⑥道路新設改良（測量設計委託・用地購入・補償費）	93,000	
⑦道路改良・舗装工事費	255,000	
⑧下水道事業会計繰出金	38,431	
(7) 消防費関係		
①有明広域事務組合負担金（消防）	146,939	
②熊本県市町村事務組合負担金（非常備消防費）	12,491	
③防火水槽設置工事費（6基）	27,000	
(8) 教育費関係		
①菊水中央小、プール濾過機取替工事、下水道工事	8,883	
②菊水中学校校舎廊下、床張替、下水道工事	10,200	
③肥後古代の森清原台地一帯樹木管理委託費	12,060	
④田中城跡、災害復旧事業	15,470	
⑤緑小消防用配管取替工事	4,968	
(9) 公債費関係		
①長期債元金	772,777	
②長期債利子、一時借入金利子	121,706	

和水町議会だより[創刊号]発刊に寄せて



和水町議会議長
福山 精一

『希望あふれ 人と地域が輝くまち』。この度「和水町議会だより」を発刊することになりました。その第1号を、お届けいたします。豊かで住みよい和水町を目指し、議会といたしましては町民の皆様方が暮らしやすい町にするためにどんなことをしたらいいのか、ふだん町民の皆さんがご利用されている道路や、福祉施設、また学校教育の問題等についても議会で慎重に審議し、町民の皆様の付託に応えるべく議会議員一同一生懸命努力致しております。また町行政のあらゆる面での執行は、まず議会が最も重要な町行政の進路と舵取りの役目である最高議決機関でもあります。議会では、年4回の定例議会をはじめ、必要に応じて臨時議会が開催され、常に町民の声を尊重し、条例の改正および制定、予算の検討などを行っています。これらのことを反映させながら、明日に向かって町づくりの活性化に取り組んでまいります。

「和水町議会だより」を通して議会活動状況をさらに詳しく町民の皆様におつたえしていければと思っております。町民の皆様方のご理解あるご支援となお一層のご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが町民の皆様のご健康とご健勝を祈念申し上げます。



和水町議会副議長
森 恵子

和水町議会副議長に就任しました森恵子です。生まれは旧菊水町内田ですが、現在は旧菊水町江田に住んでいます。私が議員を志した動機について申しますと、地方行政は、住民にとっては一番身近な政治の場です。子育て、教育、介護、環境、農業、商工業、道路等々の問題、言い替えば、私達の毎日の暮らしの中から発生する諸問題を解決、あるいは解決するための努力をし、住民が望む暮らしやすい町にしていくながら行政の仕事だと思えます。しかし、暮らしの中で、例えば、出産や子育てが難しくなってきたり、介護は主に女性が担っていること、仕事と介護が両立しにくいこと。高齢者が病人の介護をしなければならぬ現実。国の宝である子どもの教育費の負担が大きいこと。多くを外国からの輸入に頼っている食料の安全性の問題。ごみ問題を含め、環境破壊とまで言われるようになってきている現実等々、数えれば切りがないほどの問題を抱えながら私達はくらしています。しかし、暮らしの問題を一番敏感に感じている女性達の声が、行政

にはあまり反映されていないのを常に感じていたことが、議員を志した大きな要因だと言えるかも知れません。福祉の先進国といわれる国々では、政治の場に、一定の割合で女性を登用する「クォータ制度」がありますが、日本は先進国といわれながらもこの制度を導入していませんし、合併により女性議員の数は減っているのが実状です。現在、玉名郡市における女性議員の数は、玉名市二人（旧玉名市一人、旧岱明町一人）、長洲町一人、南関町一人、和水町一人で、合計五人です。唯一の和水町議員として、これから、住民の方々のご期待に添えるように頑張っていかなければならないと思っています。力量不足の私にとって、和水町議会の副議長という重責が担えるかどうか不安もありますが、議長を補佐しながら、議員の皆様のご協力をいただきながら、和水町の住民の方々が安心して住めるような町になるために、一層の努力をして参りたいと考えております。